



看護師不足に「くまもと復興応援ナース」

さくがわ しんご のだ てるみ
作川真悟・野田輝美さん(川後田)

今年1月に全館機能を復旧した阿蘇立野病院。診療再開後の同病院をはじめ、阿蘇地域は、看護師不足が深刻化していました。被災地域の医療提供体制の回復支援を目的に、県と県看護協会が連携し、「熊本復興応援ナース」の応援体制ができ、同病院にも、2人の看護師が同病院で活躍されています。その一人の作川真悟さん(福井県)は、病棟の業務に当たられ、救急認定看護師、災害看護専門士の資格を生かし、職員の勉強会の講師も務められました。看護局長の野田輝美さん(川後田)は、「作川さんは、3月で任期が終了

します。今後も病院の近況報告などを行いながら、このご縁に感謝し、恩返ししていきたい」と寂しさをにじませられます。帰福後作川さんは、看護学校で、急性期、災害看護の教職に就かれます。「応援スタッフを含め、病院再開に向け職員が一丸となり頑張ってきた経験は本当に貴重でかけがえのないものになりました」と作川さん。最後に野田さんは、「南阿蘇の地域医療のために応援していただけのナースを職員一同お待ちしております」と呼びかけられました。

「村と人」を募集しています

南阿蘇村(出身でも可)で、何かに挑戦している人や頑張っている人(団体)、活躍している人を紹介します。年齢、自薦・他薦は問いません。たくさんの応募をお待ちしています！

【申し込み・お問い合わせ】

政策企画課企画係
 Tel (67) 2230

3歳の誕生日を迎えるお子さんを募集します

■応募方法

誕生月の前月5日(5日が休日の場合は5日以降直近の平日)までに、写真・一言コメント・お子さんの氏名と生年月日・保護者の氏名・連絡先を添えて政策企画課企画係までお申し込みください。

【お問い合わせ】

政策企画課企画係 Tel (67) 2230



今回は、ご応募がありませんでした。
 3歳の誕生日を迎えられる村内在住のお子さまがいちっしやいましたらぜひご応募ください。
 ※メールでの応募もできます。

■人口

南阿蘇村	男	5,202 (△117)
	女	5,601 (△152)
	計	10,803 (△269)
	世帯数	4,504 (△36)

平成30年3月1日現在
 (前年同月比)

編集後記

▶ご卒園、ご卒業の皆さん、おめでとうございます。いよいよ春。新年度から新しい環境での生活が始まります。人との出会いも大切に頑張ってください。▶中学校の卒業式では、統合後2年間を共に中学校生活を送った同級生との別れを惜しむ姿が印象的でした。▶今月16日で熊本地震の本震から2年を迎えます。復興が進んでいるのは、多くの方々のご支援、工事などに携わっていただいている方など、数えきれないほどの皆さんのおかげです。ありがとうございます。㊦